

『矢奈比賣神社・淡海国玉神社・天御子神社誌』作成・編集委員会主催

後援：磐田市／磐田市教育委員会／磐田商工会議所

# 見付の天神さまの歴史を探ろう 矢奈比賣神社・惣社の歴史

## \* 連続公開講座 \*

### —見付の式内社3社の歴史と民俗を探る—

見付には古代より続く矢奈比賣神社(見付天神)、淡海国玉神社(惣社)、天御子神社があります。矢奈比賣神社の祭礼は「見付天神裸祭」として、淡海国玉神社と天御子神社の祭礼は「祇園祭」として有名です。特に裸祭は国の重要無形民俗文化財に指定されています。3社とも「式内社」(古代に書かれた神名帳に掲載されている神社)でありながら、歴史的な文書が殆ど残されていないので、その歴史があまり分かっていませんでした。見付三社氏子崇敬者会では調査委員会を作り、新たに確認された文書史料や民俗資料を用いて3社の歴史を探ろうという事業を立ち上げました。その『矢奈比賣神社・淡海国玉神社・天御子神社誌』作成委員会の途中成果を地域の皆さんにお伝えたく、この公開講座を設けました。

＜矢奈比賣神社誌 第1回 公開講座＞

令和8年5月16日(土) 13:30 ~ 16:00 見付天神つつじ館(社務所南側の建物)

講座 ・「調査事業紹介と見付天神の歴史 — 特に7代目神主・斎藤信幸について」

中山 正典 (調査事業編集委員長、静岡県農林環境専門職大学客員教授)

・「社領と見付の住民」

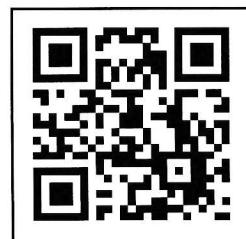
坪井 俊三 (地域史研究者、元磐田市史調査執筆委員)

下記のとおり令和8年度には5回、見付天神のつつじ館で開催を予定しています。興味ある方は誰でも参加可能ですのでお気軽に受講ください。

**※入場無料、一般参加者歓迎、申込不要**

令和8年度 公開講座

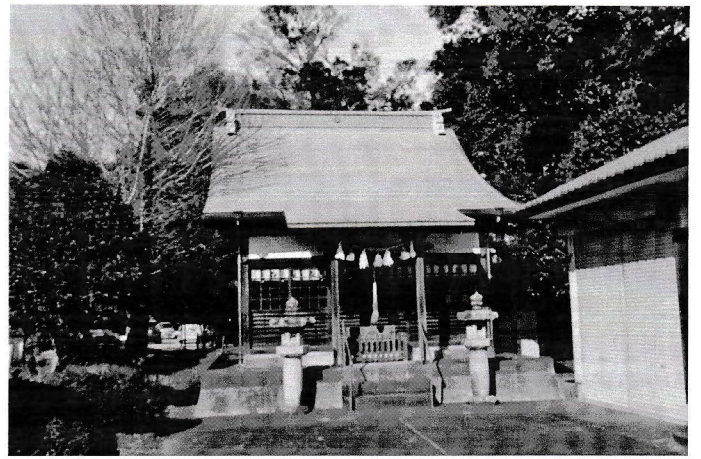
No	日時	会場	講座担当者
1	5月16日(土) 13:30	つつじ館	<事業説明> 中山 正典 坪井 俊三
2	7月18日(土) 13:30	つつじ館	佐口 節司 伊藤 新之輔
3	11月21日(土) 13:30	つつじ館	後藤 敏完 鈴木 健多郎
4	1月16日(土) 13:30	つつじ館	渥美 賢吾 高塚 真之 竹山 喜章
5	3月20日(土) 13:30	つつじ館	谷部 真吾 増田 千次郎 古田 健一郎



QRコード  
詳細はHPでご確認下さい。



淡海国玉神社(昭和初頃の絵葉書)



天御子神社

**矢奈比賣神社（見付天神）**……磐田市見付地区の氏神社。式内社（10世紀初めの『延喜式（えんぎしき）』神名帳に載る古い神社）。古代においては「矢奈比賣」の女神を祀っており、正暦4年（993）に天満宮、「天神（菅原道真）」を勧請した。これ以降天神ともよばれる。この神社の大祭が見付天神裸祭である。怪物を退治した悉平（しっぺい）太郎の伝説の舞台ともなり、参道には悉平太郎の像が建てられている。

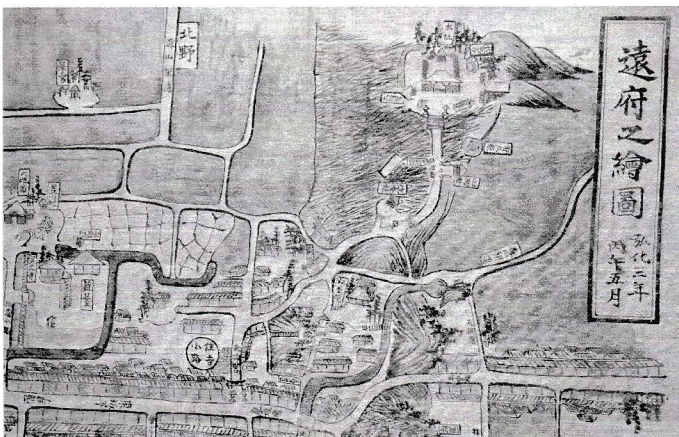
**見付天神裸祭**……国の重要無形民俗文化財。矢奈比賣神社が旧暦8月10・11日の行う大祭。矢奈比賣の神が天神社から淡海国玉神社に渡御する行事が中心となる。その際、灯りは消され、付き従う男衆は裸体に草鞋、褌に腰蓑という姿である。矢奈比賣の神は11日に見付宿を巡り、還御する。社会組織としても各祭組が4つの梯団を組織しており、また、特定の家筋で役割を担う先供も組織されている。

<調査執筆予定者>

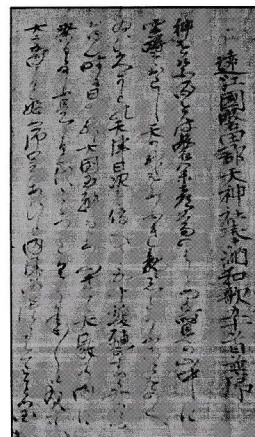
- ・谷部 真吾（監修者 山口大学教授） 巻頭言 コラム
- ・坪井 俊三 文献史料、近世史、社領
- ・高塚 真之 中世・近世史
- ・渥美 賢吾 古代・中世史
- ・後藤 敏完 神社史、しっぺい太郎
- ・佐口 節司 祭礼、建造物、文化財
- ・伊藤 新之輔 祭礼
- ・古田 健一郎 神社史、三社の神階
- ・増田 千次郎 建造物
- ・竹山 喜章 神社史、文献史料
- ・鈴木 健多郎 神社史、国学
- ・中山 正典 祭礼、神社史、文献史料



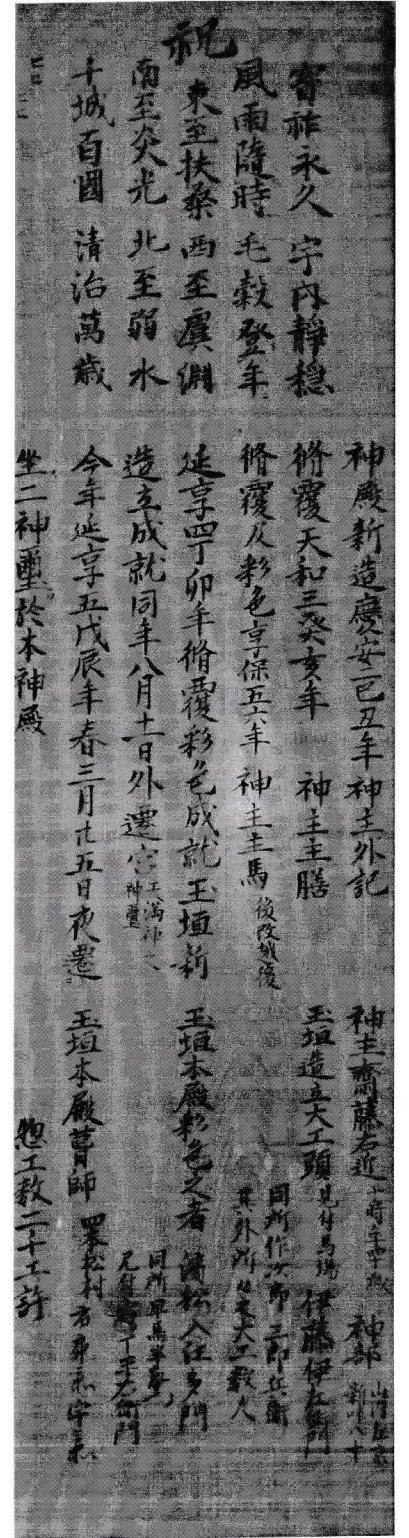
しっぺい太郎と妖怪(『遠くみます』)



弘化3(1846)年の『遠府之繪圖』



元文4(1739)年の『奉納和歌並序』



延享5(1748)年の斎藤信幸記の木札